

令和6年度教員研修計画【小学校・義務教育 学校前期課程教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 実施機関等 育成指標	基礎力の形成期								実践力の向上期		実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期			
	初任者研修				2年目研修			3年目研修		教職経験者5年研修		中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)		
	所属校 (150時間程度)	総合教育センター I (3日間)、II (3日間)、III (3日間)	教育事務所 (5日間)	市町村教育委員会 (1日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	教育事務所 (2日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	教育事務所 (2日間)	所属校 中堅教諭等資質向上研修 一般研修(5日間) 自己研修(10~15日間)	教育事務所 中堅教諭等資質向上研修 (4日間)	総合教育センター他 中堅教諭等資質向上研修 共通(1日間)、共通選択(1日間)、小学校教諭(1日間)、推奨研修(1日間任意)	
教員としての素养	・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・本県の求める教師像 ・本県教育の現状と課題 ・自己研修の意義と進め方	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・新任教員に期待すること ・各市町村における教育課題	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度),1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度),1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・メンタルヘルス不調の要因と対処	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度),1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度),1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の義務教育の充実に資する教員の在り方 ・学び続ける教師を具現化する自己研修の在り方	・児童生徒指導におけるコンプライアンス	・専門職としての教員の在り方 ・ミドルリーダーに求められる資質 ・自己研修シェアリング	・本県教育行政の概要 ・小学校教員に求められる資質・能力	
カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解 ・年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・プログラミング教育の意義 ・人権教育の推進								・本県教育の重点と学校教育目標の関係を踏まえた教育活動の展開 ・学びの連続性や教科等横断的な視点を踏まえたカリキュラム・マネジメント ・人権教育の充実	・教育課程編成の手順 ・年間指導計画・単元構想の作成(指導案検討)	・異校種間の連携 ・人権教育の総合的な推進	・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向	
学習指導力	・資質・能力を育成する教科指導 ・教材研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・児童会活動の指導の実際 ・クラブ活動の指導の実際	・各教科における資質・能力の育成と指導と評価の基礎・基本 ・総合的な学習の時間の意義と進め方 ・外国語活動・外国語科の意義と進め方			・教材研究の方法と実際 ・道徳科授業の指導と評価 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析 ・個に応じた指導の進め方	・特別活動(学級活動)の授業における資質・能力の育成と授業改善 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価の理解「社会科」「理科」「生活科」「音楽科」「図画工作科」「家庭科」	・特別活動(学級活動)の授業の参観と実施 ・道徳科を要とした道徳教育の推進	・教科指導における資質・能力の育成と授業改善 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価の理解「国語科」「社会科」「理科」「算数科」「音楽科」「図画工作科」「体育科」	・主目的・対話的で深い学びの視点からの授業改善「国語科」「社会科」「理科」「算数科」「音楽科」「図画工作科」「体育科」	・道徳教育における課題と指導の改善 ・特別活動における課題と指導の改善	・各教科における見方・考え方を働かせた授業 ・授業におけるICT機器の活用 ・指導力向上に向けて(授業研究会)		・特別活動の実際 ・外国语教育の実際 <推奨研修(希望研修)> ・小学校教科スキルアップ ・教科指導の実際「社会科」「理科」「図画工作科」「家庭科」「生活科」「音楽科」	
確かな学力を育む授業	・学習指導案・週案の書き方 ・授業参観の実践と振り返り ・研究授業の実践と振り返り ・授業における児童理解 ・評価問題の活用の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践と振り返り ・ICTを活用した教科指導 ・発達と学びの連続性	・主体的・対話的で深い学びを視点とした学習者中心の授業実践の実際(各教科・領域)	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業の展開 ・ICTを活用した教科指導	・特別活動(学級活動)の進め方	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業の展開 ・ICTを活用した教科指導	・ICTを活用した教科指導	・主目的・対話的で深い学びを視点とした授業改善 ・特別活動における課題と指導の改善	・主目的・対話的で深い学びを視点とした授業改善の実際(教科・領域) ・ミドルリーダーとしての学力保障への取組	・諸調査を活用した本県の学力向上への取組 ・ICTを活用した教科指導		
生徒指導力	・児童理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織のつくり方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 (長期)休業中の生徒指導	・情報モラル指導の実践	・生徒指導の意義と進め方 ・学級経営の意義と進め方			・学級経営における課題と改善			・多様性に配慮した児童理解と学級経営		・異校種間連携の在り方 ・望ましい学級・学年集団づくり ・学年・学級経営の評価と改善		・情報活用能力(情報モラルを含む) ・学級経営改善の視点	
いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童への対応 ・いじめ防止とその対応	・いじめ問題の対応と生徒指導	・問題行動の理解と指導の進め方					・いじめ問題への対応		・自殺予防教育の組織的な進め方 ・いじめ防止と対応の組織的な進め方		・学校的いじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある対応 ・生徒指導上の問題対応と未然防止		
教育相談	・児童のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解	・児童理解と教育相談 ・カウンセリング技術の基礎・基本				・基本的なアセスメントの進め方			・課題を抱えた児童の理解と対応 ・アセスメントの進め方の実際 ・教育相談の進め方				・実効的なカウンセリング理論と技法	
学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営									・学校教育目標実現のための学校運営・学校評価			・学校を支える教員の在り方 ・教員の在り方の再考と後輩の育成	
危機管理	・学校安全の意義と進め方				・事件・事故灾害発生時の危機管理					・学校保健計画及び学校安全計画の改善	・ミドルリーダーとしての学校安全への取組(生活安全・交通安全・災害安全)		・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方	
関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織・関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会・家庭訪問の進め方		・各市町村の教育関係施設の現状と活用							・家庭・地域との連携の意義と進め方			・地域と学校の連携・協働の推進	
復興教育の視点	・いわての復興教育の実際	・「いわての復興教育」の意義			・「いわての復興教育」の在り方					・所属校における「いわての復興教育」の推進			・「いわての復興教育」の取組	
キャリア教育の視点	・キャリア教育の進め方 ・いわてのキャリア教育の意義				・キャリア教育の現状と課題					・所属校におけるキャリア教育の推進			・「いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・特別支援教育の実際 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童の基本的理解と支援の在り方 ・特別支援教育の意義 ・多様性と包摂性のある学校の在り方			・学級経営における多様な児童のニーズに応じた支援の在り方			・多様性と包摂性のある学校の在り方	・特別支援教育と指導・支援の実際 ・特別支援教育指導法 ・特別支援教育の今日的価値	・共に学び、共に育つ教育を目指す ・特別支援教育の推進 ・心のナビゲーターの理解 ・特別支援教育の実際				
ICTや情報・教育データの利活用の視点														

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

令和6年度教員研修計画【中学校・義務教育 学校後期課程教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 研修 実施 機関等 育成指標	基礎力の形成期								実践力の向上期		実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期				
	初任者研修				2年目研修			3年目研修		教職経験者5年研修		中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)			
	所属校 (150時間程度)	総合教育センター I(3日間)、II(3日間)、III(3日間)	教育事務所 (5日間)	市町村教育委員会 (1日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	教育事務所 (2日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	教育事務所 (2日間)	所属校 中堅教諭等資質向上研修 一般研修(5日間) 自己研修(10~15日間)	教育事務所 中堅教諭等資質向上研修 (4日間)	総合教育センター他 中堅教諭等資質向上研修 共通(1日間)、共通選択(1日間)、小学校教諭(1日間)、推奨研修(1日間任意) 実践力の発展期／総合力の発揮期 ステージアップ研修(前期・後期) ・テーマ研修(2日間以上) ※必要な学びを主体的に研修 ・選択必修(2日間)		
教員としての素養	・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・メンタルヘルス不調の要因 ・対処 ・感情のコントロール ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・新任教員に期待すること ・各市町村における教育課題	・自己研修の発表と協議	・メンタルヘルス不調の要因 ・対処	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度),1回～n回 ②D(随時) ③C(3h程度),1回～n回 ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度),1回～n回 ②D(随時) ③C(3h程度),1回～n回 ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の義務教育の充実に資する教員の在り方 ・「学び続ける教師」を具現化する自己研修の在り方	・児童生徒指導におけるコンプライアンス	・専門職としての教員の在り方 ・ミドルリーダーに求められる資質 ・自己研修シェアリング	・本県教育行政の概要 ・中学校教員に求められる資質・能力	
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解 ・年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・各教科における指導計画の作成 ・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・人権教育の推進										・ミドルリーダーに求められる資質 ・人権教育の総合的な推進	・本県教育行政の概要 ・中学校教員に求められる資質・能力	
	教科教育等の専門性	・教育研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・生徒会活動の指導の実際	・各教科における資質・能力の育成と指導の基礎・基本 ・教科指導上の課題と解決策 ・総合的な学習の時間の意義と進め方		・教科指導における学習内容の系統性、発展性の理解		・教材研究の方法と実際 ・教材・教具の作成と評価 ・教科指導の視点と解決策 ・総合的な学習の時間の意義と進め方	・特別活動(学級活動)の授業の参観と評価 ・道徳科授業の指導と評価 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析 ・個に応じた指導の進め方	・特別活動(学級活動)の授業の参観と評価 ・道徳科授業の指導と評価 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析	・特別の教科道徳に求められる学習指導と評価	・学習状況の適切な把握と評価 ・視点からの授業改善の在り方	・道徳教育における課題と指導の改善 ・特別活動における課題と指導の改善	・各教科における見方・考え方を働きかけた授業 ・授業におけるICT機器の活用 ・指導力向上に向けて(授業研究会)	・中学校教員に求められる特別の教科道徳の授業改善 <推奨研修(希望研修)> ・中学校教科スキルアップ ・教科指導の実際	
	確かな学力を育む授業	・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における生徒理解 ・評価問題の作成の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方	・授業指導の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における生徒理解 ・評価問題の作成の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方		・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・主目的・対話的で深い学びを視点とした授業改善 ・ミドルリーダーとしての学力保障への取組	・諸調査を活用した本県の学力向上への取組 ・ICTを活用した教科指導	
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・生徒理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織のつくり方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・部活動の指導の進め方 ・(長期)休業中の生徒指導	・情報モラル指導の実際	・生徒指導の意義と進め方 ・学級経営の意義と進め方				・学級経営における課題と改善			・多様性に配慮した生徒理解と学級経営		・異校種間連携の在り方 ・望ましい学級・学年集団づくり ・学年・学級経営の評価と改善	・様々な立場の同僚と連携して取り組む、多様性に配慮した学級・学年経営	・情報活用能力(情報モラルを含む)の育成 ・学級経営改善の視点
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校生徒への対応 ・いじめ防止との対応	・いじめ問題の理解と生徒指導	・問題行動の理解と指導の進め方					・いじめ問題への対応		・自殺予防教育の組織的な進め方 ・いじめ防止と対応の組織的な進め方	・子供の生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応		・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある対応 ・生徒指導上の問題対応と未然防止	
	教育相談	・生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解	・生徒理解と教育相談 ・カウンセリング技法の基礎・基本				・基本的なアセスメントの進め方			・課題を抱えた生徒の理解と対応 ・アセスメントの進め方の実際 ・教育相談の進め方				・実効的なカウンセリング理論と技法	
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営												・学校を支える教員の在り方 ・教員の在り方の参考と後輩の育成	
	危機管理	・学校安全の意義と進め方				・事件・事故灾害発生時の危機管理					・学校保健計画及び学校安全計画の改善	・ミドルリーダーとしての学校安全への取組(生活安全・交通安全・災害安全)		・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方	
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方		・各市町村の教育関係施設の現状と活用							・家庭・地域との連携の意義と進め方			・地域と学校の連携・協働の推進	
復興教育の視点	・いわての復興教育の実際	・いわての復興教育の意義			・いわての復興教育の在り方						・所属校におけるいわての復興教育の推進			・いわての復興教育の取組	
キャリア教育の視点	・キャリア教育の進め方	・いわてのキャリア教育の意義			・キャリア教育の現状と課題						・所属校におけるキャリア教育の推進			・いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・特別支援教育の実際 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮 ・支援を必要とする生徒の基本的理得と支援の在り方 ・特別支援教育の意義 ・多様性と包摂性のある学校の在り方			・学級経営における多様な生徒のニーズに応じた支援の在り方			・通常の学級における特別支援教育の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方		・特別支援教育と指導・支援の実際 ・特別支援教育指導法 ・特別支援教育の今日的価値		・共に学び、共に育つ教育を目指す ・特別支援教育の推進 ・心のノリアフーの理解			
ICTや情報・教育データの利活用の視点															

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

令和6年度教員研修計画 【高等学校教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 研修 実施 機関等 育成指標	基礎力の形成期								実践力の向上期		実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期			
	初任者研修			2年目研修			3年目研修		教職経験者5年研修		中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)			
	所属校 (150時間程度)	県教育委員会 (5日間)	総合教育センター I (3日間)、II (4日間)、 III (3日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	フォローアップ研修 (1日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (3日間)	県教育委員会 (3日間)	総合教育センター (2日間)	所属校 中堅教諭等資質向上研修 一般研修(5日間) 自己研修(10~15日間)	県教育委員会 中堅教諭等資質向上研修 (1日間)	教育事務所 中堅教諭等資質向上研修 (2日間)	総合教育センター 他 中堅教諭等資質向上研修 共通(1日間)、共通選択 (1日間)、高等学校教諭(1日間)、推奨 研修(1日間任意)
教員としての素養	・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進		・本県高校教育の現状と課題 ・服務などの責任 ・社会人としての心構えとコン ・プライバシの理解 ・メンタルヘルス不調の要因 ・対処 ・感情のコントロール ・自己研修の意義と進め方	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議		・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議		・自己研修の発表と協議	・岩手の教育課題 ・教職経験5年教員へ期待す ること	・専門職としての教員の在り 方	・自己研修シェアリング	・ミドルリーダーに求められる 資質 ・高等学校教員に求められる資質・能力 ・コミュニケーション能力の育成
学 習 指 導 力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解と年間指導 計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道德教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・年間指導計画の改善 ・カリキュラム・マネジメントの 在り方	・道徳教育の意義					・年間指導計画の改善	・カリキュラム・マネジメントの 実際	・教育課程編成の手順		・異校種間の連携	・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向
	教科教育等の専門性	・教材研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・特別活動の指導の実際	・教科の特質と指導の方法 ・個に応じた指導の進め方 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析	・各教科における資質・能力 の育成と指導の基礎・基本 ・指導計画・指導案の作成 ・教材研究の進め方 ・教科指導技術の向上 ・総合的な探究の時間の意 義と進め方 ・特別活動の指導の意義と 進め方	・教科指導における学習内容 の系統性、発展性の理解	・教科授業の参観と実施 ・個に応じた指導の進め方	・指導と評価の一体化の在り 方	・教科指導法の改善 ・キヤウラ教育や道徳教育の 視点を持った教科目標の 設定 ・教材研究の工夫と改善 ・学習評価の要点理解と実践 上の工夫 ・教科授業の参観と実施 ・効果的なICT活用の工夫	・指導と評価の一体化の在り 方	・学習意欲を高める指導の工 夫 ・学習評価を生かした授業の 進め方	・授業におけるICT機器の活 用		・学校公開研究会への参加 を通じた各教科等の教材 研究	<推奨研修(希望研修)> ・高等学校教科スキルアップ ・教科指導の実際
	確かな学力を育む授業	・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における生徒理解 ・評価問題の進め方の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・ 一斉指導の仕方 ・習熟度別編成による指導 ・通知表の作成の仕方	・学習指導要領の理解 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における生徒理解 ・評価問題の進め方の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・ 一斉指導の仕方 ・習熟度別編成による指導 ・通知表の作成の仕方	・学習指導における生徒理解 の基本的な在り方 ・教育実践課題の交流 ・ICTを活用した学習評価	・校内授業研修(年間1回5 時間程度)	・学習者中心の授業実践・ 授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導	・校内授業研修(年間1回5 時間程度)	・個に応じた指導の進め方 (生徒の特性や学習状況 の理解等に応じた指導の 進め方) ・ICTを活用した教科指導	・個に応じた指導の進め方 (生徒の特性や学習状況 の理解等に応じた指導の 進め方) ・ICTを活用した教科指導	・主体的・対話的で深い学び を視点とした学習者中心の 教科指導の在り方 ・個々の生徒の学習状況の 把握 ・ICTを活用した教科指導	・教科指導における課題と改 善 ・思考力・判断力・表現力等 を育成する教科指導の在り 方 ・ICTを活用した教科指導	・主体的・対話的で深い学び の推進		・主体的・対話的で深い学び を視点とした授業改善の実 際 ・学校公開研究会への参加 を通じた授業改善
生 徒 指 導 力	発達支持的生徒指導	・多様性に配慮した集団指導 と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学年経営とホームルーム経 営の関わり ・ホーミルーム組織のつくり 方と運営 ・ホーミルーム活動の指導の 実際 ・ホーミルーム事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・部活動の指導の進め方 ・(長期)休業中の生徒指導	・情報モード指導の実際 ・生徒指導の意義と進め方					・ホームルーム経営と担任の 実務		・コーチングの理論と方法 ・生徒指導の考え方や手法 の理解	・異校種間連携の在り方 ・望ましい学級・学年集団づく り ・ホームルーム経営・学年經 営の評価と改善			・情報活用能力(情報モードを含む)の育成 ・学級・学年経営改善の視点
	いじめ等の問題行動・不登校 等への対応	・不登校生徒への対応 ・問題行動の理解と指導の進 め方 ・いじめ防止とその対応		・問題行動の理解と指導の進 め方				・いじめ防止と対応の進め方		・子供の生活の変化を踏まえ た適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登 校等への組織的対応				・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある 対応
	教育相談	・生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解		・カウンセリング技法の基礎・ 基本 ・教育相談の進め方				・自殺予防教育の組織的進 め方と個への対応 ・教員と生徒の望ましい関係 づくり		・課題を抱えた生徒の理解と 対応				・実効的なカウンセリング理論と技法
マ ネ ジ メ ント 力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校組織と運営								・学校教育目標実現のため の学校運営・学校評価				・ミドルリーダーとしての組織マネジメント ・学校を支える組織マネジメント
	危機管理	・学校安全の意義と進め方		・教育情報セキュリティポリ シー		・事件・事故災害発生時 の危機管理				・学校保健計画及び学校安 全計画の改善 ・組織的な危機管理の在り方				・専門職としての教員に求められる 法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方 ・教育活動と教育法規の関連性
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関 係機関の役割と連携・協働 の実際 ・保護者との面談の進め方								・家庭・地域との連携の意義 と進め方				・地域と学校の連携・協働の推進
復興教育の視点	・いわての復興教育の実 際		・いわての復興教育の意 義		・いわての復興教育の在り方				・所属校におけるいわての 復興教育の推進				・いわての復興教育の取組	
キャリア教育の視点	・キャリア教育の進め方		・いわてのキャリア教育の意 義		・キャリア教育の現状と課題			・生徒主体のキャリア教育 の在り方	・所属校におけるキャリア教 育の推進				・いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童 生徒への教育の視点	・特別支援教育の校内体制 の理解 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と 実際		・特別支援教育の意義 ・発達障がい等の基本的理 解と支援の在り方 ・多様性と包括性のある学校 の在り方				・特別支援教育の視点を取り 入れた授業づくり	・多様性と包括性のある学校 の在り方	・インクルーシブ教育システムの推進と組織的に進める 特別支援教育				・共に学び、共に育つ教育を目指す 特別支援教育の推進 ・心のアフリの理解 ・特別支援教育の動向 ・二次障がいへの対応 ・支援を要する生徒の進路指導	
ICTや情報・教育データの 利活用の視点														

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。

* 植数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

令和6年度教員研修計画【特別支援 学校教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 研修 実施機関等 育成指標	基礎力の形成期							実践力の向上期		実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期				
	初任者研修			2年目研修		3年目研修		教職経験者5年研修		中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)				
	所属校 (150時間程度)	県教育委員会 (3日間)	総合教育センター I (3日間)、II (3日間)、III (3日間)、IV (3日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	所属校 I (2日間)、II (2日間)	総合教育センター 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	所属校 (2日間)	センター研修 (3日間)	県教育委員会 (2日間)	センター研修 (3日間)	所属校 中堅教諭等資質向上研修 一般研修(5日間) 自己研修(10~15日間)	県教育委員会 中堅教諭等資質向上研修 (1日間)	教育事務所 中堅教諭等資質向上研修 (2日間)	総合教育センター他 中堅教諭等資質向上研修 共通(1日間)、共通選択 (1日間)、特支学校教諭(1日間)、 推奨研修(1日間任意)
教員としての素养	・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・授業に向かう教師の姿勢	・本県特別支援教育の現状と課題 ・サービスとその責任 ・社会人としての心構えとコミュニケーションアシスタンスの理解 ・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・自己研修の意義と進め方	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度),1回～n回 ②D(随時) ③C(3h程度),1回～n回 ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・採用2年目の教員に期待すること ・自己研修の発表と協議	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度),1回～n回 ②D(随時) ③C(3h程度),1回～n回 ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の特別支援教育の児童に資する教員の在り方	・岩手の特別支援教育の現状と課題	・専門職としての教員の在り方	・自己研修シェアリング+N7 ・ミドルリーダーに求められる資質	・本県教育行政の概要 ・特別支援学校教員に求められる資質・能力		
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育観の理解と年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道德教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・自立を目指す教育課程の在り方 ・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・道徳教育の意義	・発達障がいのある児童生徒の理解と支援 ・重度・重複障がいのある児童生徒の理解と支援				・事例検討を通じた教育課程の評価・改善 ・カリキュラム・マネジメントの考え方	・教育課程と個別の指導計画の評価と改善		・異校種間の連携	・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向 ・特別支援学校の教育課程 ・発達障がいのある児童生徒の理解と支援		
	教科教育等の専門性	・教科指導の基礎技術 ・教材研究の進め方 ・特別活動の指導の実際 ・ICTを活用した教科指導の実際	・授業交流による授業設計の基礎 ・教科の特質と指導の方法 ・個人に応じた指導の進め方 ・教科授業の参観と実際 ・授業の分析	・学習・生活場面におけるICT活用 ・授業づくりの基礎・基本 ・教科指導の進め方 ・授業研究の進め方 ・自作教材・教具の作成と活用の仕方 ・自己研修(教科・領域指導)の進め方	・自立活動の指導の基本		・学習・生活場面におけるICT活用 ・道徳の教育と授業	・学習・生活場面におけるICT活用 ・道徳の指導と評価			・学校公開研究会への参加を通じた各教科等の教材研究	・事例研究を生かした授業の展開 <推奨研修(希望研修)> 教科スキルアップ (小中高いずれかの校種から選択) ・教科指導の実際		
	確かな学力を育む授業	・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・評価問題の作成の仕方 ・宿題・家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方	・指導と評価の一体化に向けて学習評価 ・授業参観と授業研究の進め方	・いつての授業づくり3つの視点 ・ティームティーチングの進め方 ・小学校における学力保障に向けた授業改善の実際(授業参観) ・インクルーシブ教育システム推進の視点からの授業改善	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・特別支援学校における授業づくりの実際(授業参観) ・児童生徒の主体的な取組を支援する授業づくり(授業研究会) ・インクルーシブ教育システム推進の視点からの授業改善	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・学習指導と評価の要点 ・個人に応じた指導の進め方		・事例検討を通じた授業改善	・授業実践の工夫と改善 ・主体的・対話的で深い学びの推進 ・個人に応じた効果的な指導方法		・主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善の実際 ・自立に向けた主体的な取組みを支援する授業づくり ・ICTを活用した教科指導	
生徒指導力	発達支持の生徒指導	・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織の在り方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・部活動の指導の進め方 ・長期休業中の生徒指導	・授業を支える学級経営の具体	・情報モラル指導の実際	・望ましい関わりを目指すティーチャーズ・トレーニングの実際			・多様性に配慮した児童生徒理解を基にした信頼関係の構築		・一人一人の良さや個性を認め合う指導 ・学年・学級経営の評価と改善 ・異校種間連携の在り方			・情報活用能力(情報モラルを含む)の育成	
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童生徒への対応 ・問題行動の理解と指導の進め方 ・いじめ防止とその対応	・授業交流による児童生徒への指導の具体	・いじめ問題の対応と生徒指導		・いじめ防止と対応の進め方		・行動問題への計画的な対応	・事例検討を通じた障がいのある児童生徒への指導・支援	・児童生徒理解に基づく効果的な指導 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応			・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある対応	
	教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解	・児童生徒の成長や発達の理解	・カウンセリング技法の基礎・基本 ・教育相談の進め方			・教育相談を通じた保護者・地域支援		・カウンセリングマインドに基づく適切な教育相談				・実効的なカウンセリング理論と技法	
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営						・センター的機能の実際 ・カリキュラム・マネジメントの意義と進め方	・学校教育目標や経営計画に基づく校内連携				・学校運営の視点と学校組織の活性化 ・学校運営と学校評議	
	危機管理	・学校安全の意義と進め方	・教育情報セキュリティポリシー	・非常災害時に役立つ技術「避難所運営体験活動演習」 ・事件・事故灾害発生時の危機管理			・問題行動の予測と未然防止		・児童生徒の健康安全に対する取組の改善 ・学校保健計画及び学校安全全計画の改善 ・組織的な危機管理の在り方				・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方	
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織・関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方				・保護者等と連携した交流及び共同学習の進め方		・関係機関との連携に基づく効果的な支援の実施 ・家庭・地域との連携の意義と進め方					・児童生徒支援につなげる保護者連携 ・関係機関・外部専門家との連携と学校運営 ・地域と学校の連携・協働の推進	
復興教育の視点	・「いわての復興教育」の実際		・「いわての復興教育」の意義		・「いわての復興教育」の在り方				・所属校における「いわての復興教育」の推進				・「いわての復興教育」の取組	
キャリア教育の視点	・キャリア教育の意義と進め方			・特別支援学校におけるキャリア教育の実際		・進路指導の意義と実際		・所属校におけるキャリア教育の推進					・いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからのキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・いわて特別支援教育推進プランの実際 ・心理検査法の実際 ・個別の指導計画等作成と活用の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方 ・合理的配慮の意義 ・交流及び共同学習の意義と実際	・異障がい種特別支援学校における教育活動の実際			・特別支援教育の意義 ・いわて特別支援教育推進プランの意義と方向性	・交流及び共同学習の評価と改善	・異障がい種特別支援学校における教育活動の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方	・合理的配慮の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方	・所属校における「いわて特別支援教育推進プラン」の推進				・共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進 ・心のパワーフリーの理解 ・心理検査を生かした指導・支援	
ICTや情報・教育データの利活用の視点	研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。													

* 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

令和6年度教員研修計画 【養護教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 育成指標	研修 実施機関等	基礎力の形成期								実践力の向上期			実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期			
		初任者研修				2年目研修		3年目研修		教職経験者5年研修			中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)			
		所属校	県教育委員会	教育事務所(小中)	県教育委員会(県立)	所属校	県教育委員会	所属校	県教育委員会	県教育委員会	教育事務所(小中)	県教育委員会(県立)	所属校	教育事務所(小中)	県教育委員会	総合教育センター他
		(88時間程度)	I(3日間)、II(2日間)、III(3日間)	(1日間)	(1日間)	自己研修(5時間程度)	(2日間)	自己研修(5時間程度)	(1日間)	(2日間)	(2日間)	(2日間)	中堅教諭等資質向上研修 一般研修及び自己研修(5~10日間)	中堅教諭等資質向上研修(1日間)	中堅教諭等資質向上研修(1日間)	実践力の発展期／総合力の差揮期 ステージアップ研修(前期・後期) ・テーマ研修(2日間以上) ※必要な学びを主体的に研修 ・選択必修(2日間)
教員としての素养		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・養護教諭の職務と使命及び役割 ・学校における情報管理 ・教員としての使命・責任感 ・自己研修の意義と進め方 ・メンタルヘルスの不調の要因と対処	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・本県高校教育の現状と課題 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の教育の充実に資する教員の在り方 ・「学び続ける教師」を具現化する自己研修の在り方	・児童生徒指導におけるコンプライアンス	・教員としての使命・責任感	・専門職としての教員の在り方	・ドルリーダーに求められる資質	・自己研修シェアリング	・本県教育行政の概要 ・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向 ・養護教諭に求められる資質・能力
養護教諭の専門領域における職務	保健管理	・健康診断の進め方 ・健康観察の進め方 ・学校環境衛生の進め方 ・感染症への対応 ・救急处置への対応	・定期健康診断計画立案と運営、事後措置の進め方 ・学校環境衛生活動計画立案と運営、事後措置の進め方 ・緊急時の判断と対応 ・感染症の理解及び予防・発生時の対応			・学校保健計画の評価 ・救急体制と校内外の連携 ・カリキュラム・マネジメントの在り方			・健診診断の評価と改善 ・学校環境衛生活動の評価と改善 ・感染症対策の評価と改善 ・救急処置の評価と改善		・健康管理の効果的な取組の実際			<推奨研修(希望研修)> 養護教諭専門スキルアップ ・養護教諭における危機管理体制の構築		
	保健教育	・集団における保健指導の実際 ・学校保健啓発活動の実際 ・教育の意義と進め方	・特別活動の意義と進め方 ・性に関する指導の意義 ・薬物乱用防止教育の意義 ・学習指導要領(体育科・保健体育科)の理解					・特別活動等における保健教育の評価と改善	・特別活動における課題と指導の改善	・特別活動における保健教育の評価と改善 ・保健体育における保健教育の実際 ・学習指導要領	・学校の健康課題解決に向けた保健教育の実際 ・ICT活用			・養護教諭の特質を生かした保健教育のかかわり方と進め方		
	個別の保健指導、健康相談	・特別な支援が必要な児童生徒への個別指導の実際 ・健康相談の在り方	・健康相談の意義と進め方 ・児童虐待の理解					・現代的な健康課題を抱える児童生徒の支援		・チーム支援とコーディネーターとしての役割					<推奨研修(希望研修)> 養護教諭専門スキルアップ ・健康相談の理論と方法	
	保健室経営	・保健室の整備 ・保健室経営計画の立案と実践	・保健室経営の実際 ・保健室経営計画の立案と評価 ・職務におけるICT活用			・保健室経営の改善の視点 ・職務におけるICT活用		・保健室経営改善と評価の在り方 ・職務におけるICT活用	・保健室経営の評価と実践上の工夫 ・職務におけるICT活用	・保健室経営の評価と実践上の工夫	・学校保健管理センターとしての保健室経営の在り方			・学校保健課題解決のための保健室経営と協働の推進		
	保健組織活動	・学校保健委員会の実際	・学校における学校保健組織活動の意義と進め方					・保健組織活動の評価と改善		・主体的に取り組む学校保健組織活動の実際					・学校における保健組織活動の在り方と進め方	
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・児童生徒理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・人権教育の進め方 ・学校行事の指導の実際	・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への対応					・人権教育の充実		・異校種間連携の在り方	・様々な立場の同僚と連携して取り組む、多様性に配慮した学級・学年経営					
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童生徒への対応 ・いじめ防止などの対応	・情報モラルとその指導				・いじめ問題への対応	・自殺予防教育の組織的な進め方 ・いじめ防止と対応の組織的な進め方	・子供の生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応					・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫ある対応		
	教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解	・児童生徒理解と教育相談					・課題を抱えた児童生徒の理解と対応 ・教育相談の進め方	・組織的に進める教育相談	・アセスメントの進め方の実際 ・教育相談の進め方					・実効的なカウンセリング理論と技法	
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営							・学校教育目標実現のための学校運営・学校評価							
	危機管理	・学校安全の意義と進め方	・学校管理下における学校事故の現状と課題			・事件・事故灾害発生時の危機管理		・学校教急体制の構築と関係機関との連携		・学校保健計画及び学校安全計画の改善	・ミドルリーダーとしての学校安全への取組(生活安全・交通安全・災害安全)				・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方	
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談の進め方	・教職員及び学校三師との連携の在り方						・家庭・地域との連携の意義と進め方							
復興教育の視点		・いわての復興教育の実際	・「いわての復興教育」の意義			・「いわての復興教育」の在り方				・所属校における「いわての復興教育」の推進						
キャリア教育の視点		・キャリア教育の意義と進め方				・キャリア教育の現状と課題				・所属校におけるキャリア教育の推進					・いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからのキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の実際 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方					・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方	・特別支援教育と指導・支援の実際 ・特別支援教育指導法 ・特別支援教育の今日的価値	・多様性と包摂性のある学校の在り方			・共に学び、共に育つ教育を目指す ・特別支援教育の推進 ・心のパワーフリーの理解			
ICTや情報・教育データの利活用の視点																

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。

* 極度の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

令和6年度教員研修計画 【栄養教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 育成指標	研修 実施機関等	基礎力の形成期				実践力の向上期			実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期						
		初任者研修		2年目研修		3年目研修		教職経験者5年研修			中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)				
		所属校 (88時間程度)	県教育委員会 I (3日間)、II (3日間) III (3日間)	教育事務所 (小中) (1日間)	県教育委員会 (県立) (1日間)	所属校 自己研修(5時間程度) (2日間)	県教育委員会 自己研修(5時間程度) (1日間)	所属校 自己研修(5時間程度) (2日間)	県教育委員会 教育事務所 (小中) (2日間)	県教育委員会 (県立) (2日間)	所属校 中堅教諭等資質向上研修 一般研修及び 自己研修(5~10日間)	教育事務所 (小中) 中堅教諭等資質向上研修 (1日間)	県教育委員会 中堅教諭等資質向上研修 (1日間)	総合教育センター他 中堅教諭等資質向上研修 共通(1日間)、共通選択(1日間) 栄養教諭(1日間)、推奨研修(1日間任意) 実践力の発展期／総合力の発揮期 ステージアップ研修(前期・後期) ・テーマ研修(2日間以上) ※必要な学びを主体的に研修 ・選択必修(2日間)	
教員としての素養		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・本県の求める教師像 ・職務内容及び服務に関する基本事項 ・栄養教諭の職務と使命及び役割 ・自己研修の意図と進め方 ・パーソナルヘルス不調の要因と対処	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構え ・コミュニケーション	・本県特別支援学校の現状と課題 ・サービスとその責任	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の義務教育の充実に資する教員の在り方 ・「学び続ける教師」を具現化する自己研修の在り方	・児童生徒指導におけるコンプライアンス	・岩手の特別支援教育の現状と課題	・専門職としての教員の在り方	・モデルリーダーに求められる資質 ・自己研修シェアリング	・本県教育行政の概要 ・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向 ・栄養教諭に求められる資質・能力
栄養管理		・児童生徒の食生活や健康状態の実態把握 ・成長期の栄養管理に関する理解	・栄養教諭の職務に関する関係法規についての理解 ・食事摂取基準と学校給食摂取基準の理解 ・学校給食文献立の作成、献立計画 ・学校給食献立の作成(地場)			・学校給食の管理の評価				・個々に配慮した栄養管理の在り方			・効果的な栄養管理の在り方		・児童生徒の状況を踏まえた栄養管理の実際
衛生管理		・学校給食施設の状況の把握と改善 ・検査キット等を活用した衛生管理	・学校給食衛生管理基準の理解 ・衛生管理の基準と実際(調理員への指導含む) ・食の安全に関する理解 ・関係諸帳簿の理解(作業工程表、作業動線図の在り方) ・学校給食衛生管理改善 ・食中毒発生時の対応						・学校給食における現代的課題	・衛生管理の現状と課題		・衛生管理の改善		・関係機関等と連携した衛生管理の改善の実際	
給食の時間等における食に関する指導		・食に関する指導の進め方	・食に関する指導の全体計画・年間指導計画の意義と実際 ・学校給食の教材としての活用 ・健康教育の意図と進め方 ・栄養教諭として求められる學習指導要領の理解と活用 ・食に関する指導の体制づくりと指導の実際 ・特別活動の意義 ・職務におけるICT活用 ・カリキュラム・マネジメントの在り方				・調理従事者等関係者と連携した食育の在り方 ・職務におけるICT活用	・職務におけるICT活用	・学習評価を生かした実践の在り方 ・食に関する學習指導案の改善 ・職務におけるICT活用	・特別活動における課題と指導の改善	・事例検討を通じた指導改善	・発達段階に応じた食に関する指導の在り方とICT活用			・発達段階に応じた食に関する指導と事後指導の在り方 ・教科等の學習内容と学校給食を関連付けた指導の実際
個別的な相談指導		・個別的な相談指導の実際	・カウンセリングの理論 ・個別的な相談指導の体制づくりと指導の実際 ・病態(特に食物アレルギー)に関する基礎的知識の習得 ・個別的な相談指導の在り方と指導の実際 ・スポーツ栄養に関する基礎的知識の習得						・効果的な個別的な相談指導の在り方			・保護者や関係機関等と連携した個別的な相談指導の在り方		<推奨研修(希望研修)> 栄養教諭専門スキルアップ ・PDCAに基づいた個別的な相談指導の在り方 ・スポーツを行う児童生徒への指導 ・食物アレルギーについて	
生徒指導力	発達支持的生徒指導 いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・児童生徒理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・人権教育の進め方 ・学校行事の指導の実際	・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への対応						・人権教育の充実			・異校種間連携の在り方		・発達段階に応じた指導の在り方	
	教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方						・いじめ問題への対応		・自殺予防教育の組織的な進め方 ・いじめ防止と対応の組織的な進め方	・事例検討を通じた障がいのある児童生徒への指導・支援	・子供の生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応			・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止の工夫 ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫性のある対応
マネジメント力	学校及び共同調理場組織における連携・協働 危機管理 関係者等との連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営	・学校及び共同調理場の組織運営						・事件・事故災害発生時の危機管理	・特別支援学校のセンター的機能の実際 ・カリキュラム・マネジメントの意義と進め方	・学校教育目標実現のための学校運営・学校評価			・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方	
	復興教育の視点	・「いわての復興教育」の実際	・「いわての復興教育」の意義				・「いわての復興教育」の在り方				・所属校における「いわての復興教育」の推進				
	キャリア教育の視点	・キャリア教育の意義と進め方					・キャリア教育の現状と課題				・所属校におけるキャリア教育の推進			・いわてのキャリア教育などの進め方 ・企業における人材育成 ・これからのキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の理解 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の実際 ・多様性と包括性のある学校の在り方						・合理的配慮の実際	・特別支援教育と指導・支援の実際 ・特別支援教育指導法 ・特別支援教育の今日的価値	・多様性と包括性のある学校の在り方		・共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進 ・心のバリアフリーの理解		
ICTや情報・教育データの利活用の視点															

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。

* 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。